

2018年 中河内地区「夏の公開研修」報告

講座番号 (⑥)	講座名 「すべての子どもが共に育つ学級ってつくれるのか？」
日時	2018年 8月1日(水)
講師	大阪府立八尾支援学校教諭 下里 宗利 先生

<講座の様子>

文化や育ちの環境、ものの捉え方が様々に異なる子どもたちを、一つの学級にまとめることができるのか、というテーマで講演をして頂きました。前半がスライドを使った講義形式、後半は、参加者からの質問全て(休憩時間中に記入)に対して、本校の松永首席と、リーディングスタッフの飯野教諭が応じるという形で行いました。前半の講演では、発達障がいの大まかな枠組みや、教師の多岐に渡る業務内容も踏まえたうえでの、子どもたちへの接し方についての話がありました。

「感情の育ち」に注力した指導が、子どもたちの今後においても大きな意味をもつこととなります。感情を言語化し、感情を社会化することが、暴言や暴力などに訴えることなく、感情をコントロールする力の育成にも繋がっていきます。私たち教師が子どもたちに、正しく共感的な言葉をかけることで、“今の感情”を自覚する力が培われていくと共に、自尊感情の強化にも繋がるものと考えられます。

後半の時間では、たくさんの質問シートが出されていました。時間の都合上、他校から受講されている先生方からの質問のみの対応となりましたが、「漢字を書くのが苦手な子への支援の仕方は?」「パニックになった生徒へは、どのような言葉かけが有効か?」「本人の“やりたい”感情を優先させると、クラスのルールが守れなくなるが、どう対処すべきか?」など、現場からの生の声に、一つ一つ経験をもとにしたアドバイスがなされました。

今回の講義では、日々の実践に活かせるヒントが数多くありました。柔軟な思考でヒントを活用し、今後の教育活動に役立てて頂ければと思います。

